

(平成 26 年度 JAM・ビクター高齢者・退職者の会)

■日時 : 2013. 10. 6(日) 13:00～14:00 ※ 閉会后、労組統合に関する報告あり。**■場所** : 川崎マリエン(川崎市港湾振興会館) 4 階研修室 JVC シニアクラブ
(文責・総会書記:西郷治男)**1. 開会** [13:00]

◆はじめに、司会の高石副会長より 1 年間の物故者 3 名～湯浅和博氏(2013.2/65 歳)、伊東俊夫氏(2013.7/79 歳)、野谷幸夫氏(2013.7/71 歳)に対し、黙祷が行われた。

◆開会挨拶の後、議長選出の事務局案(宮田宏美氏)が提案され、承認された。

2. 総会役員選出

◆議長の宮田氏が登壇、挨拶の後、議長より書記に西郷が任命された。

3. 会長挨拶 [13:10]

◆菅沼会長より挨拶。

<要旨>

- ・本日は休日で色々と予定がある中、多数の皆様に参加いただき(役員含め 47 名出席)、感謝する。また写真展示や最上階の展望も楽しんで頂きたく、この会場で開催となった。
- ・昨年の総会も同じ 10/6 で、民主党支持率 30%という中での開催だったが、この 1 年間で様変わりした。昨年 12 月の総選挙、7 月の参議院選で民主党は惨敗、その後の党内情勢も混乱が続き、これまで我々の支援は一体何だったのかと思うと、腹立たしい限りである。社会保障に充てるはずだった消費税増税も自公政権は必ずしもそうではない動きがあり、高齢者にとって最も重要な社会保障制度は改悪の方向に進んでいるのではないか。
- ・今後、民主党を中心に野党が結束し、自公体制にどう対処していくかがポイントとなる。政党支持率は公明、維新を下回る 4%ではあるが、野党第一党としての民主党が先頭に立って、老後を安心して暮らせる社会の実現のために、ぜひ頑張ってもらいたい。
- ・シニアクラブの狙いは、健康でいつまでも長生き出来る暮らしの実現であり、今後もJAM及びJVCシニアクラブの活動方針に基づいて諸活動を進めていきたい。皆様にはより一層のご支援ご協力をお願いしたい。

4. 来賓挨拶 ※ 後述。

◆議長より、ビクター労組・君塚委員長の挨拶については総会終了後、引き続き「議案書8. 労組統合に関する報告」の中で挨拶をいただくとの紹介があり、次の「報告」へと進行。

5. 報告 [13:25]

◆田代事務局長より、(1) (2)一括で報告。

(1)平成 25 年度活動報告

<議案書 1～3 ページ参照>

- ・会員数は昨年度 10 名加入ながら、退会もあつて 230 名台で横バイ。主な活動は 2 月の寄席、7 月のジャズ鑑賞などであったが、今総会の企画のように会員の特技・趣味を紹介する機会を増やしたことで、会員相互の交流の場として一定の成果が見られた。今後も本部活動と合わせ、支部活動の活発化及び組織活動の基本である会員拡大が課題である。

(2)平成 25 年度会計収支決算報告

<議案書 4 ページ参照>

- ・支部活動の活発化や労組統合関連での本部活動増加を見込み、前年比 8%増の予算としたが、実績は予算対比 62%で支出総額はほぼ前年並。本部活動増加分は労組統合による役員の会議費・交通費であり、支部活動は全体に低調で補助の未消化が目立った。

(3)平成 24 年度会計監査報告

＜議案書 5 ページ参照＞

- ・会計監査の飯田氏より「7/31 現在の財務諸表について厳正に審査を行った結果、会計処理はすべて適正であることを認めた」と報告された。

◆報告事項(1)～(3)に関する質疑なし。

～(1)(2)(3)一括し、拍手で承認

6. 議案 [13:40]

◆田代事務局長より、(1)(2)一括で提案。

(1)平成 26 年度活動方針に関する件

＜議案書 6～8 ページ参照＞

- ・夏の参議院選で候補者得票数を見ると、全野党の得票数は自公より 200 万票以上も上回りながら、当選者数は野党 22 人で自公 51 人の半分以下。これは選挙制度や投票率なども関連するが、まず野党の結束が重要。民主党を中心に健全な野党づくりが求められる。
- ・具体的活動は①会員拡大 ②勉強会・見学会の企画、情報交換の場を提供 ③JVCシニアクラブ便り発行 ④上部団体の活動参画 ⑤同世代との地域交流 ⑥支援議員を通じて我々の意思を国政に反映 ⑦労組現役役員との意見交換、経営動向の情報収集。

(2)平成 26 年度会計収支予算に関する件

＜議案書 9 ページ参照＞

- ・予算額は昨年実績をベースとしつつ、総会の交通費、対外行事費、本部活動費(労組統合の継続課題による役員会議費・交通費等)の増額、及び本部行事補助、支部活動補助での活動の活発化を見込み、全体で昨年予算対比 109%、予備費含め約 12 万円増。

◆議案(1)(2)に関する質疑なし。

～(1)(2)一括し、拍手で承認

◆田代事務局長より、(3)その他 の提案あり。

(3)その他 「川柳」作成のお願い

- ・本日の趣味・特技の写真展示にもあるように、何事にも関心を持って自らを磨き続けることが、いきいきとした日常の行動にもつながるもの。その意味から全員配布の「メモ用紙」(懇親会の抽選会も使用)に、サラリーマンやシルバー等をテーマにした川柳を一句作成して欲しいとのお願いあり。(第 2 部の懇親会会場で抽選発表と共に、用紙を回収)

7. 閉会 [13:59]

- ・議長降壇、書記解任のあと、司会より閉会の挨拶があり、予定通り 14:00 閉会した。

◆5 分間の休憩後、労組・君塚委員長より「挨拶を含め労組統合に関する報告」が行われた。

8. 労組統合に関する報告 [14:05]

＜要旨＞

- ・第 12 回総会を祝すと共に、年に一度ではあるがこの場で皆様にお会いできること、また日頃の現役活動へのご支援ご協力に御礼を申し上げる。
- ・本日は、①会社の経営状況 ②労組統合の動向 の 2 点について報告させていただく。

① 会社の経営状況

- ・2008 年に日本ビクターとケンウッドは経営統合し、その後も厳しい経営状況が続いていたが、ようやく 2012 年 3 月期に全ての事業(4 事業;カー/ホーム&モバイル/PS(特機)/ソフト・エンタ)が営業利益黒字化を達成。続いて今年 2013 年 3 月期決算も全事業が黒字化となり、2 期連続で黒字を実現し、何とか回復基調が見えてきた。
- ・しかし、最大の課題は売上げ減少であり、ケンウッド統合後の 2008 年は 6000～7000 億円であったものが、2013 年は 3066 億円と 5 年間で半減している。これは事業の思い切った選択と集中によるものだが、一方で新事業・新ビジネスが出てきてないことも一因にある。
- ・業界の動きは目まぐるしい変化の中、今や「スマホ」に大きく押されて当社の既存事業の縮

小が著しい。一例でカムコーダー事業を見ると、2008 年;売上 1000 億円、利益 100 億円だったが、2013 年;売上 200 億円、利益ゼロという実態。但し、シェアは維持している。

- ・現在、江口新社長のもと、戦略的分野へのシフトを進め、BRICS 市場の強化、新興国向け製品づくりなどグローバルな施策で売上げ拡大を目指している。一方、アベノミクスによる円安という経済環境を背景に、海外生産比率 90%の当社は収益性悪化から株価は低迷(180 円前後)し、残念ながら成長は停滞の状況にある。
- ・今後、消費税アップも控え、ますます厳しい業界ではあるが、AVメーカーとして勝ち残っていくためには労組の協力は不可欠であり、そのためには皆様の一層のご支援をお願いしたい。(11/6 上期決算発表で、アクションプラン等の再建計画も明らかにされる予定)

② 労組統合の動向

- ・先日 9/30、ビクター労組年次大会を開催し、ビクター労組としての活動が終了すると共に、ケンウッドグループ内ユニオン(ケンウッド労組)と統合。10/1 には双方同一大会を開催し、「JVCケンウッド労働組合」として新たな活動がスタートした。
- ・労組統合の経緯は、2 年前から 3 つのテーマ(統合後の組織体制/活動内容・労働条件/双方の意識風土づくり)について話し合ってきたが、いまだ多くの難題を抱えており、未解決の課題は 10 月以降も引き続き話し合いを継続する。(これまで双方で激しい議論も)
- ・主な未解決テーマは、新役員体制(現状、法的代表者は君塚委員長が代行)、産別組織(上部団体;ビクター/JAM、ケンウッド/電機労連)、組合費、共済金など歴史的背景からも難しい課題がある。但し、JVCシニアクラブのフォローについては当面、現状維持としている。今のところ年末までは暫定執行部として活動していくが、ポイントは将来にわたってどういう組織を作るかであり、今後も真剣に話し合っていく。
- ・1946 年に結成され、今年で 67 年目を迎えるビクター労組の 6 代目委員長として、今後も責任感を持って取り組んでいく所存であり、引き続き皆様のご支援ご協力をお願いする。

【質疑】

Q: 双方の資産はどうするのか?

A: ビクター 19 億円、ケンウッド 4~5 億円であるが、ビクターの約 6 割は特別会計として今後1年間で処理し、残りを統合後の資産として合体の予定。

Q: 組合員数はどうなっているのか?

A: ビクター 1900 名(単独ベース。他に労連ベース 800 名)、ケンウッド 1500 名(全体の約 9 割がケンウッドグループユニオン傘下)であり、統合後の組合員数は 3400 名。

■15:00 より、マリエンタワー棟(9 階)スカイレストランで「交流懇親会」が開かれ、総会会場に写真展示された皆さんのスピーチや楽しい抽選会など活発な交流が行われ、17:00 過ぎ終了。

<写真出展> [順不同、敬称略]

- ①「星空」 宮田宏美(小山市) ~日食など太陽や星座の観測を行い、写真掲載誌も展示。
- ②「私の趣味」 石井利明(横浜市) ~ウイスキー等瓶の口から部品を入れ、精巧な船を作成。
- ③「飛びもの」 井上純一(坂東市) ~近隣各地の野鳥や水鳥などを撮影、珍しいシーンも。
- ④「錦鯉と盆栽」 荒井嘉根男(横浜市) ~自宅の大きな池で錦鯉を育て、見事な盆栽も紹介。
- ⑤「花の素顔」 浅井信義(秦野市) ~花・植物の知識を活かし、季節の花の素顔をアップ。
- ⑥「古都鎌倉」 須山 正(横浜市) ~優れたテクニックで鎌倉の名所・旧跡などをアピール。
- ⑦ <事務局>7月本部行事「ジャズを学ぼう」 ~当日録音の曲をバックにスライドで紹介。

以上